



梅田川川づくり 活動報告会



背景と目的

全国の小規模河川には、堰堤などの横断構造物が数多くあり、水生生物の遡上を妨げています。2022年、仙台市の竜ノ口渓谷（広瀬川合流部）と梅田川にあった古い堰堤に、全国でも例のない切欠き魚道が各1箇所設置され、魚の遡上が可能となりました。仙台市の切欠き魚道の特徴は、比較的簡単な工事と低予算で設置できることです。今後の多自然川づくりのモデルエリアとして、全国に普及することを目指しています。

昨年度のシンポジウムに引き続き、2023年度の梅田川における活動報告会を開催し、皆さまと一緒に市民参加による川づくりについて考えたいと思います。

開催概要

日時 2024年 2月 16日(金) 18:00～20:30頃

会場 仙台市市民活動サポートセンター 研修室5（仙台市青葉区一番町四丁目1-3）

対象 川づくりに関心のある方、どなたでも

参加費 無料

プログラム

- 1 報告「2023年度の梅田川における活動紹介」
- 2 環境DNAを用いた魚類調査結果
橋本正志さん（陸奥テックコンサルタント株式会社・技術士）
- 3 ケーススタディ
宮城教育大学 棟方有宗先生・棟方研究室
- 4 提案「梅田川魚道の改良ポイントと新しい機器を使った魚道評価」
林田寿文さん（土木研究所自然共生研究センター 主任研究員）
- 5 ディスカッション（意見交換）
～これからの市民参加による川づくりについて～



主催

仙台リバーズネット・梅田川/NPO法人水・環境ネット東北

協力

宮城教育大学棟方研究室/カントリーパーク新浜

*この取り組みは地球環境基金の支援を受けています。

【お申し込み・お問い合わせ】

NPO法人水・環境ネット東北

E-mail mizunet@mizunet.org

TEL 090-2979-5755